

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
ハイリスク事例支援論	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	池田 由貴 ※
授 業 概 要					
健康課題をもちながら、それを認識していない／表出しない／表出できない人々や、制度の網目から抜け落ちる人々、複雑困難な健康課題を有する人々を把握し、支援するための方法や実際の活動を学ぶ。 また、これらの人々を支援するための地域ケアシステムのあり方を考える視点も学ぶ。					
到 達 目 標					
1. ハイリスク事例（アウトリーチ活動が必要な事例）の特性と具体例を説明することができる 2. ハイリスク事例に対する公的な予防策・対応策、関係法令を説明することができる 3. ハイリスク事例への対応方法、及び、関係者・関係機関との連携・協働の方法を説明することができる					
実務経験のある教員					
池田由貴：保健師の実務経験をふまえてハイリスク事例へのアプローチについて概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 「公衆衛生看護学総論」の復習 2. ハイリスク事例とは？ 1) 「支援を求めない人」「制度の網目から抜け落ちる人」「複雑困難な健康課題を有する人」とはどのような人々か？ 2) ハイリスク事例に対する支援－アウトリーチ活動とは？ 3. ハイリスク事例への対策・関係法令 1) 児童虐待・養育困難な家庭 2) 治療中断者・セルフネグレクト 3) アディクション 4) 経済的困難・生活保護受給者 5) 閉じこもり・引きこもり 6) 自殺念慮・自殺未遂者 4. 事例でみるハイリスク事例への対応方法 1) 把握方法 2) 事例発見時の対応；当事者・家族への対応、支援体制の構築 3) 事例への対応；当事者・家族・関係者への対応、支援チームの連携・協働 4) 対応の評価 5. ハイリスク事例を支援する地域ケアシステムの実際 1) 好事例の紹介 2) 演習；地域ケアシステムに必要な要素を考える				池田 由貴 ※
学 習 方 法					
講義、個人ワーク、グループワーク					
評 価 方 法					
演習成果物、及び、演習に取り組む態度、科目修了試験					
先 修 科 目					
2年次配当科目「公衆衛生看護学総論」「公衆衛生看護学各論」					
教科書・参考書					
〔教科書〕 標準保健師講座〔1〕公衆衛生看護学概論 標美奈子 他 著 医学書院 標準保健師講座〔2〕公衆衛生看護技術 中村裕美子 他 著 医学書院 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 松本千明 著 医歯薬出版株式会社					
〔参考書〕 地域における支援困難事例15 吉岡京子 吉永陽子 伊波真理雄 医学書院					